

2014年3月12日

**電通、第17回「アジア太平洋広告祭（ADFEST 2014）」において、
「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」
「ネットワーク・オブ・ザ・イヤー」
「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞**

第17回「アジア太平洋広告祭（ADFEST 2014）」^{※1}が3月6日から8日の3日間、タイのパタヤで行われました。同広告祭において、電通のクリエイティブティーターが高く評価され、単独の広告会社として「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」^{※2}と「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞すると共に、グループとして「ネットワーク・オブ・ザ・イヤー」に輝きました。

電通が制作に関わった作品のうち、5作品が「フィルム」「インタラクティブ」「プロモ」「デザイン」「インテグレートッド」の各部門において、最高賞であるグランデ・ロータスを獲得したほか、電通グループ全体では各部門で以下の46の賞を受賞しました。

（以下、数字は賞の数）

- ・フィルム部門（グランデ1、シルバー3、ブロンズ9）
- ・プレス部門（ブロンズ1）
- ・アウトドア部門（ゴールド1、シルバー2、ブロンズ2）
- ・ラジオ部門（ブロンズ1）
- ・インタラクティブ部門（グランデ1、シルバー4、ブロンズ1）
- ・ダイレクト部門（ゴールド1）
- ・プロモ部門（グランデ1、ゴールド1、シルバー1、ブロンズ1）
- ・デザイン部門（グランデ1、シルバー5、ブロンズ1）
- ・フィルムクラフト部門（シルバー1、ブロンズ3）
- ・メディア部門（ゴールド2）
- ・インテグレートッド部門（グランデ1）
- ・イノーバ部門（イノーバロータス（ゴールドに相当）1）

以上

※1：アドフェスト（ADFEST）は1998年に創設されたアジア太平洋地域最大の広告祭で、アジア広告協会連盟（AFAA）の後援によって運営されており、世界でも権威ある広告賞の一つとされています。今年は41都市から295社が参加し、フィルム、プレス、アウトドア、ラジオ、インタラクティブ、モバイル、ダイレクト、プロモ、デザイン、プリントクラフト、フィルムクラフト、ニューディレクター、メディア、インテグレートッド、イノーバ、エフェクティブ、ロータスルーツの全17部門で、合計3253作品のエントリーがありました。

※2：電通は2011年、2012年に、電通グループのタブルート社（所在地：インド・ムンバイ市）は2013年に、それぞれ「アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しています。

■アドバタイジング・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー



■ネットワーク・オブ・ザ・イヤー



■インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー

